

# 疼痛とオピオイドについて

公立学校共済組合 近畿中央病院 薬剤部 里岡 達哉

2023年11月9日 第6回がん薬薬連携セミナー

# 本日のテーマ

- 疼痛とは？
- オピオイドの種類と特徴
- オピオイド導入時における服薬指導のポイント

# 本日のテーマ

- ・ 疼痛とは？
- ・ オピオイドの種類と特徴
- ・ オピオイド導入時における服薬指導のポイント

# 疼痛とは

つまり、  
どういうこと？

国際疼痛学会

実際

お

あ

れ

情動体験

時、

さ

よび

# 疼痛とは



主観的な症状の為  
評価が大切

後悔

# 侵害受容性疼痛

## 疼痛の原因

ズキズキ

炎症・変形  
などによる  
痛み

ピリピリ

神経損傷に  
よる  
痛み

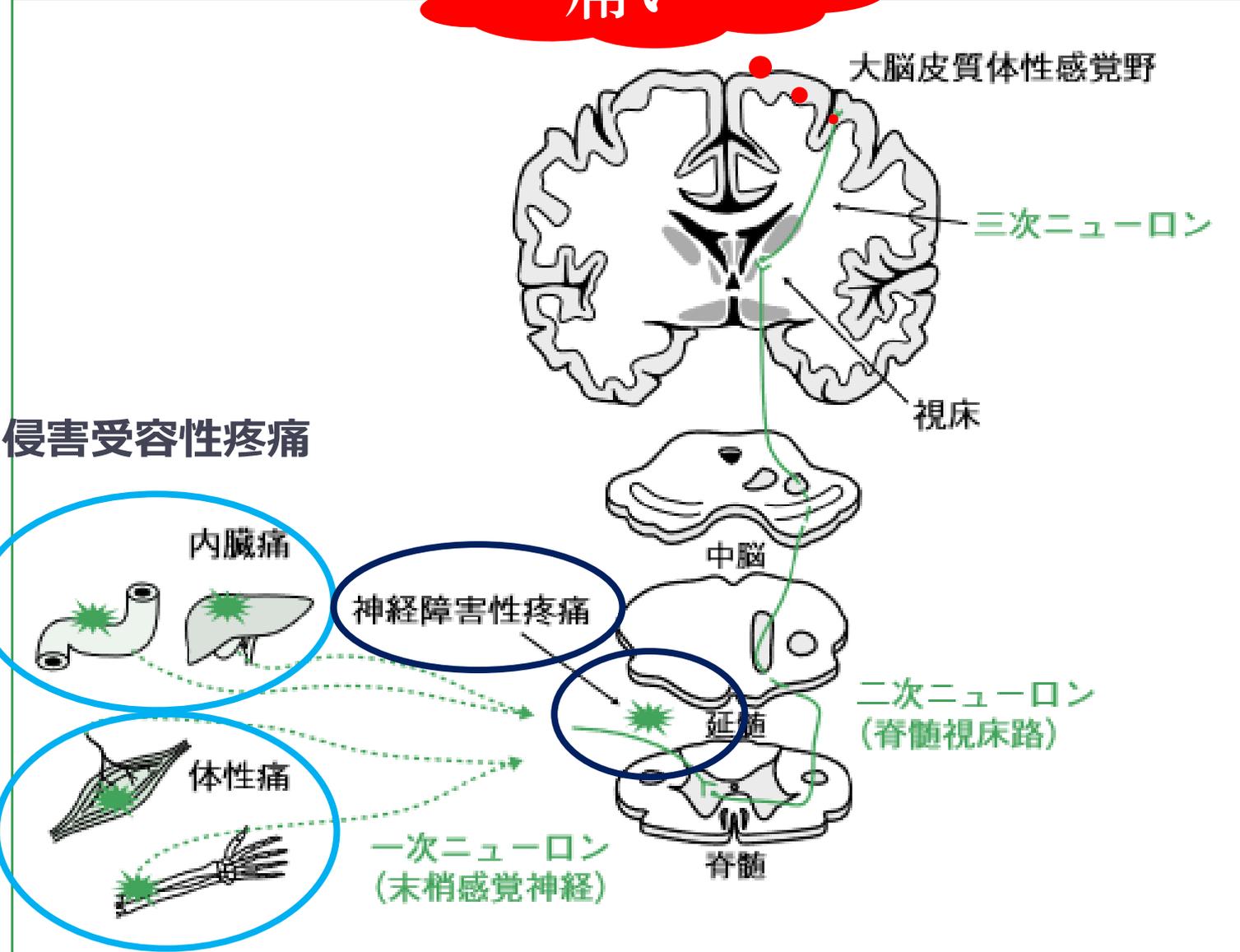
感情  
ストレス  
による痛み

神経障害疼痛

心因性疼痛

# 疼痛の伝達

痛い



# 本日のテーマ

- ・ 疼痛とは？
- ・ オピオイドの種類と特徴
- ・ オピオイド導入時における服薬指導のポイント

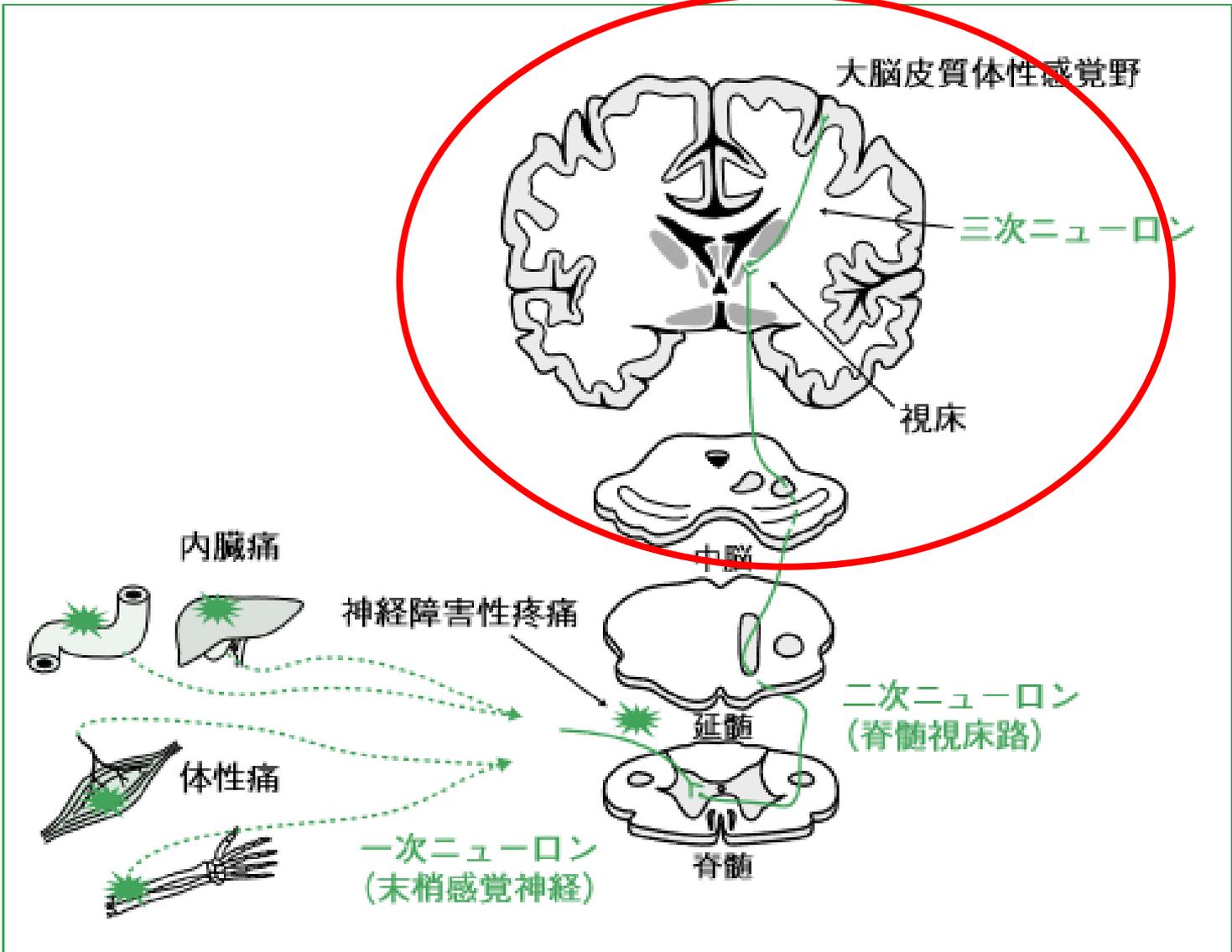
# オピオイド鎮痛薬

医療用麻薬

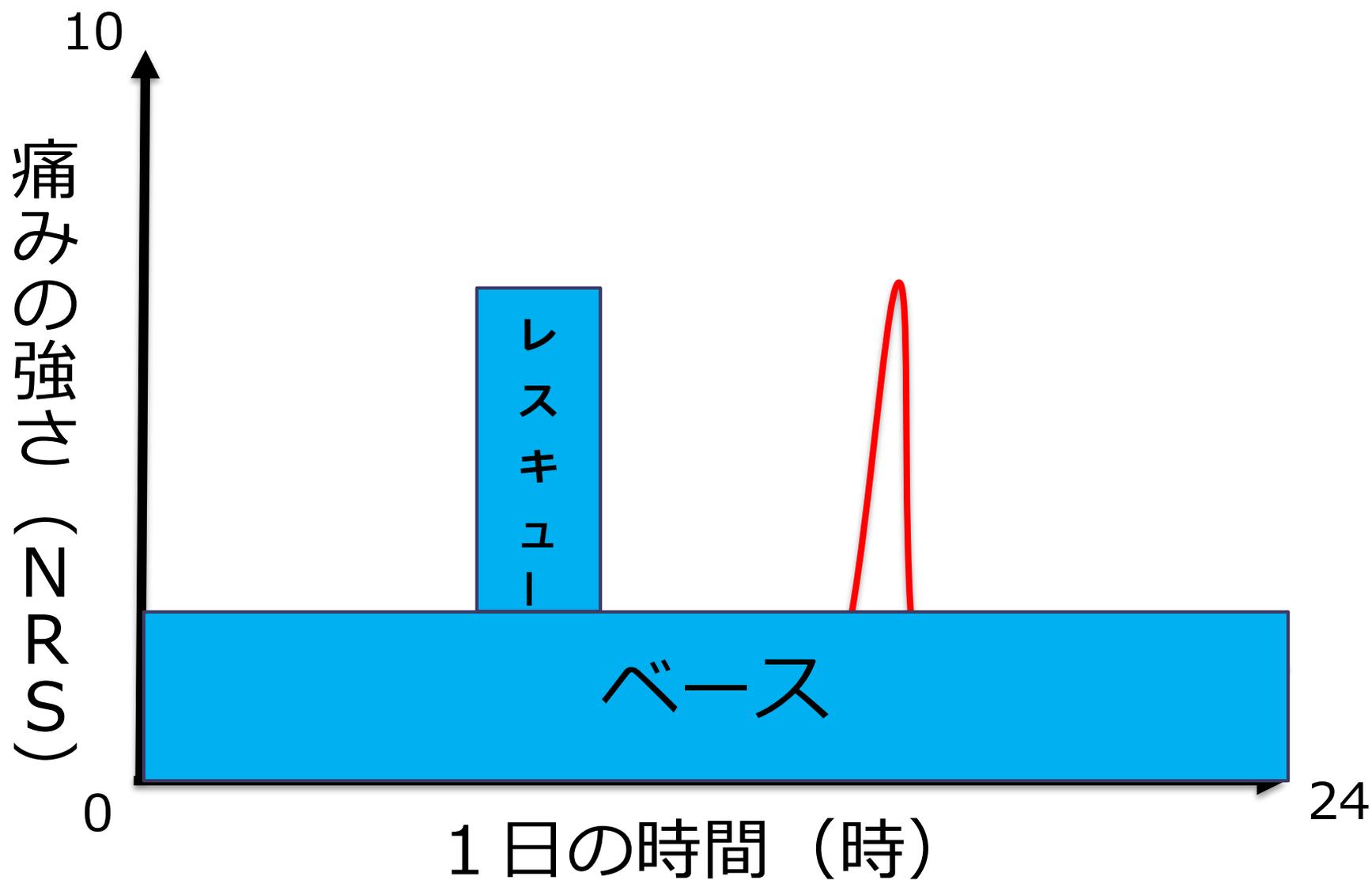
麻薬ではない



# オピオイド鎮痛薬の作用部位



# <ベースとレスキュー>



# 一般名

# ベース

# レスキュー

モルヒネ



オキシコドン



フェンタニル



ヒドロ  
モルフォン



# モルヒネ製剤の特徴

レスキューの剤型が沢山ある

薬剤相互作用が少ない

腎機能障害があれば使用を控える

モルヒネ錠は激しい咳嗽、下痢にも使用可

# オキシコドン製剤の特徴

腎機能障害の影響が少ない

薬剤相互作用が多い

オピオイド導入時に使用する医師が多い

# フェンタニル製剤の特徴

腎機能障害の影響が少ない

嘔気、便秘などの副作用が少ない

ベースはテープ剤のみで疼痛に合わせて  
用量調整がしにくい

レスキュー製剤の使用 방법에注意が必要

# タペンタドール製剤の特徴

腎機能障害の影響が少ない

嘔気、便秘などの副作用が少ない

ノルアドレナリン再取り込み阻害作用あり

同成分のレスキュー製剤がない

# ヒドロモルフォン製剤の特徴

腎機能障害の影響が少ない

薬剤相互作用が少ない

低用量から開始出来る

ベース製剤は1日1回の服用でよい

# <オピオイド換算表>

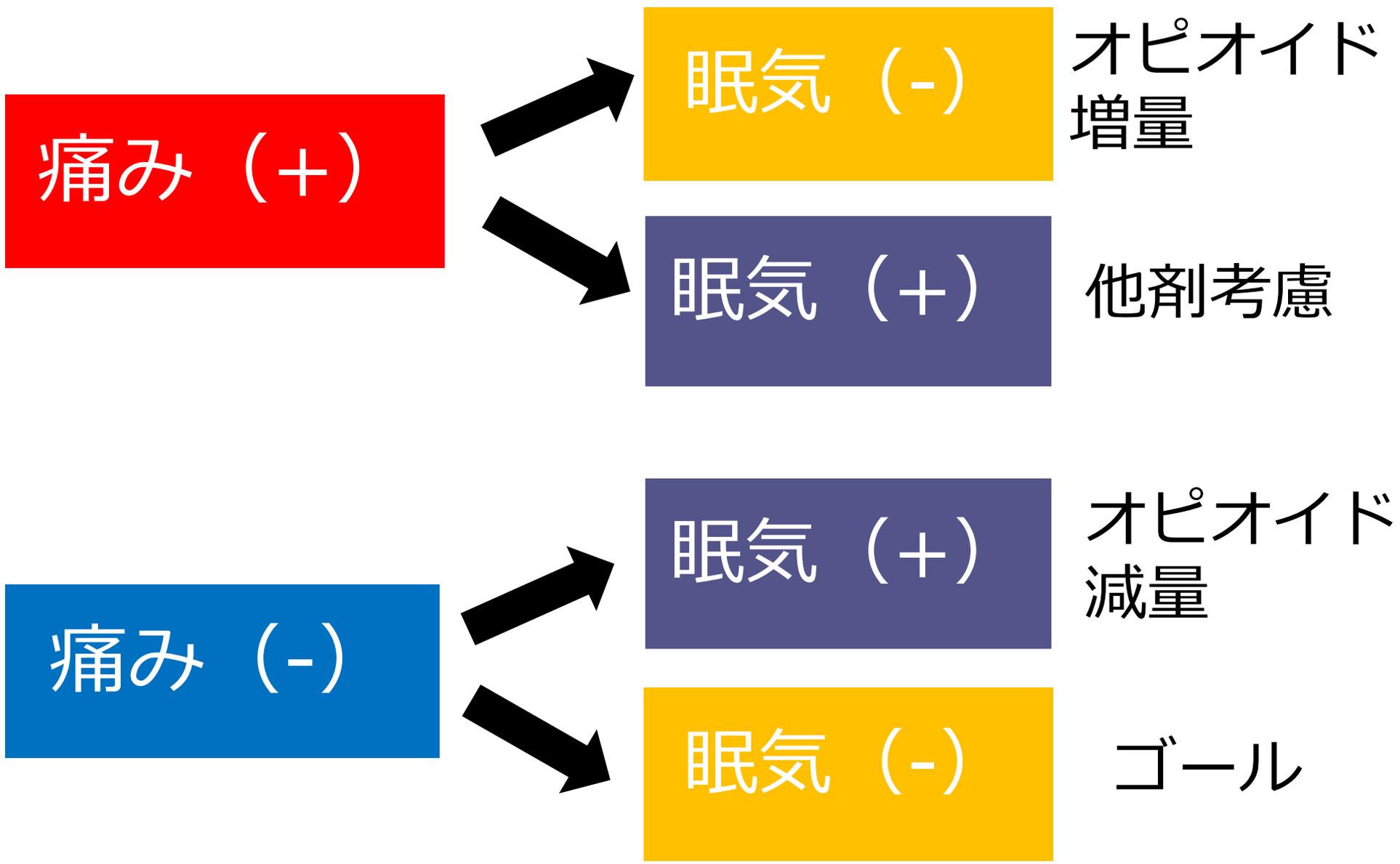
オピオイド鎮痛薬の1日投与量の目安

タペンタ錠	ナルサス錠	MSコンチン錠	オキシコドン錠	フェントステープ
	2m g			
50mg			10m g	0.5mg
	4 m g	20m g		
100mg	6m g	30m g	20m g	1m g
200mg	12m g	60m g	40m g	2m g
300mg	18m g	90m g	60m g	
400mg	24m g	120m g	80m g	4m g

# 医療用麻薬の使い分け

- 腎機能障害時はモルヒネを避ける
- 便秘などの副作用が問題となる場合  
フェンタニルやタペンタドールが望ましい
- 緩和すべき呼吸困難がある場合  
フェンタニルやタペンタドールを避ける

# オピオイドの効果判定



# レスキューの上手な使い方

ベース製剤の1日投与量の1/6が目安

ベース製剤と同じ成分にこだわる  
必要はなく飲みやすい剤型で選択を

1日の服用回数に制限はなく  
レスキューが定時服用薬の投与量の目安に

体動時痛などの予防的レスキューは  
口腔粘膜薬は30分前 経口投与薬は60分前

# 本日のテーマ

- ・ 疼痛とは？
- ・ オピオイドの種類と特徴
- ・ オピオイド導入時における服薬指導のポイント

# 服薬指導のポイント

- ・ 疼痛に対し使用する場合は  
薬物依存はしない
- ・ ベース製剤は定時に服用する
- ・ レスキューは1時間間隔を空ければ  
繰り返し使用できる
- ・ 副作用は便秘 嘔気 傾眠があり  
便秘は予防的に 嘔気は頓服で対応する

最後に

疼痛管理は薬剤投与だけではなく

ポジショニングの指導

リラクゼーションなどの心理的アプローチ

患者さんとのコミュニケーションも大切

ご清聴ありがとうございました